

Ankle Fusion Plating System

Surgical Technique



目次

Ankle Fusion Plating System	03
アンクルフュージョンプレート 前方 MIS	05
サージカルテクニック	06
4.5 アンクルフュージョンプレート,前方 TT	08
サージカルテクニック	09
4.5 アンクルフュージョンプレート,前外側 TT	10
4.5 アンクルフュージョンプレート,前方 TT Short Talar Nck	11
4.5 アンクルフュージョンプレート,外側 TT	12
サージカルテクニック	13
4.5 アンクルフュージョンプレート,外側 TTC	14
サージカルテクニック	15
4.5 アンクルフュージョンプレート,後方 TTC	16
サージカルテクニック	17
その他構成品	18
オーダーインフォメーション	19

Ankle Fusion Plating System

1. オブロングコンプレッションホール

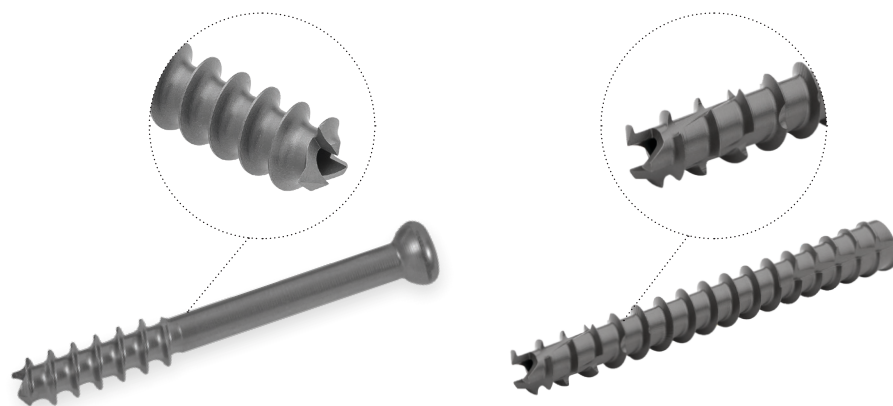
2. アナトミックコンプレッションホール

コーティカルスクリューを挿入して、
関節を圧迫固定します。



3. スクリューオプション

6.7mm LPスクリュー, Ti, 中空や
7.0 XL Comp FTスクリューなどの
スクリューを提供いたします。



4. Mini Jointディストラクターコンプレッサー

プレート設置前に固定部位に圧迫や延伸を加えます。

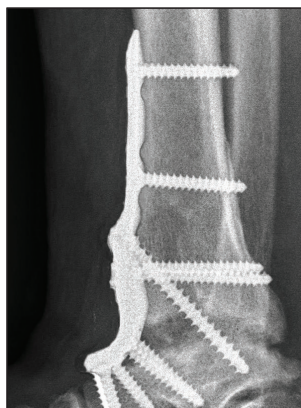
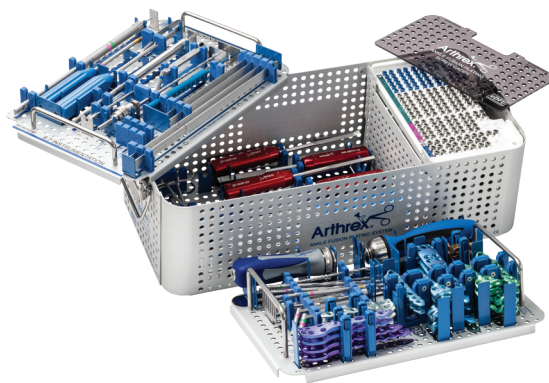


Arthrex Ankle Fusion Plateing System

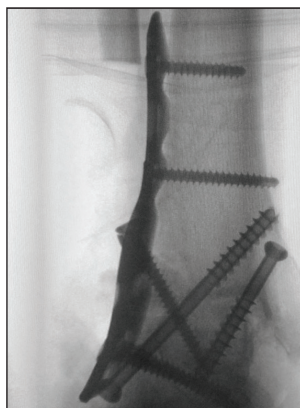
アングルフュージョンシステムは足関節固定術における様々なニーズに応えるために開発されました。前方、外側、後方の各アプローチに対応したプレート、また外側には距腿 (TT) や距腿・距踵関節 (TTC) の固定に対応したプレートをラインナップしております。幅広いサイズのロックングスクリュー、コーティカルスクリューがあり、術者が固定方法を任意に選択することが可能です。また足関節固定術に適した専用インスツルメントを取り揃えています。

System Features

- 前方、外側、後方の各アプローチに適した設計
- 足関節固定術を容易にするインスツルメント



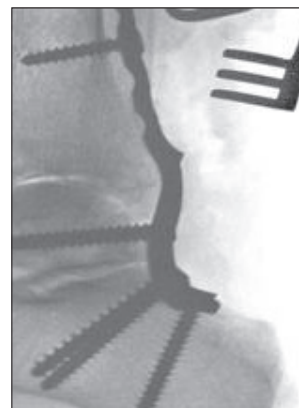
4.5 アングルフュージョン
プレート, 前方 TT
AR-8970AL



4.5 アングルフュージョン
プレート, 外側 TT
AR-8970TT



4.5 アングルフュージョン
プレート, 外側 TTC
AR-8970TTC



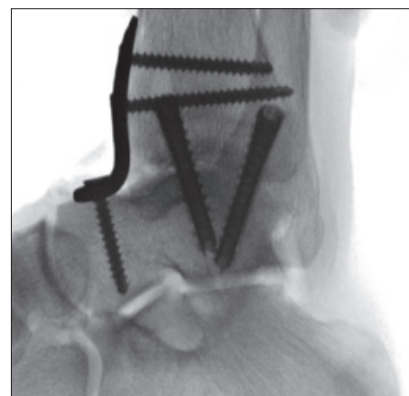
4.5 アングルフュージョン
プレート, 後方 TTC
AR-8970PR



Minimally Invasive Anterior Tibiotalar Fusion Plate (TT)

前方MISプレートは中空スクリューと併用して、ミニオープンで足関節固定前方アプローチが出来るよう設計されています。通常の3本のスクリューでの関節固定と比較すると、スクリュー固定にプレートでの固定も追加することによって、固定力を高め、固定部のマイクロモーションを減少させることが期待できます。

■ 距腿関節固定に対するミニオープンアプローチ



BB-Takを用いた仮固定

ロックングスクリュー 4.5mm
ノンロックングスクリュー 4.5mm
またはキャンセラススクリュー5.5mm
が使用可能



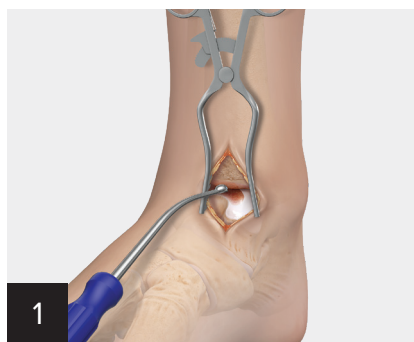
オプロングコンプレッションホール

AR-8970MA アンクルフュージョンプレート、
前方 TT MIS



7.0 XL Comp FT スクリュー

Joint Preparation

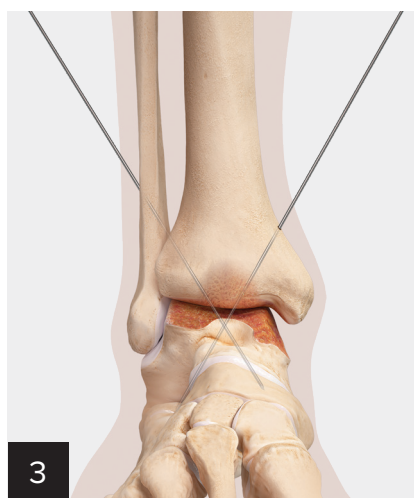


足関節固定部の郭清のため、前内側に小皮切を加えます。

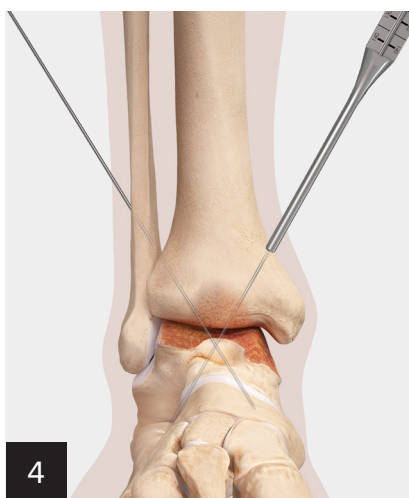


関節炎によって変性のある場合は、脛骨前方部の一部を切除する必要があります。

A) Optional: ミニジョイントディストクター コンプレッサーを用いることで、プレート設置前に圧迫や延伸を加えることが可能となります。



3 経皮的にガイドワイヤー2本を用いて、足関節を中間位、5°~10°外旋にて仮固定します。



4 デプスゲージ2.4mm用を用いて、1本目の2.4mmガイドワイヤーの挿入長を測定します。スクリューを骨表面から埋没させ、圧迫固定する場合はこの測定した長さから差し引く必要があります。



5 皮質骨層を貫通するために、プロファイルドリル7mmをガイドワイヤーに沿ってドリリングします。骨面に対してスクリューヘッドをフラットの位置に挿入するために、レーザラインまでドリリングします。骨面よりも2mmスクリューヘッドを埋没する場合はプロファイルドリル7mmが進まなくなるまでドリリングします。



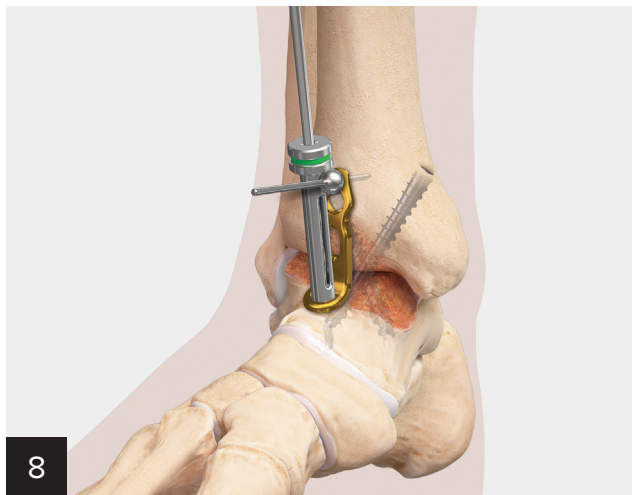
6 ストレートドリル5mm中空XL CFT 7mm用を使用して、ドリリングします。選択したスクリューをヘキサローブドライバーT25を用いて挿入し、関節固定部に圧迫を加えます。

※5.0 Large Comp FT スクリューや6.7 LPスクリュー, Ti, 中空、6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, 18mm、6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, 28mmも併用可能です。

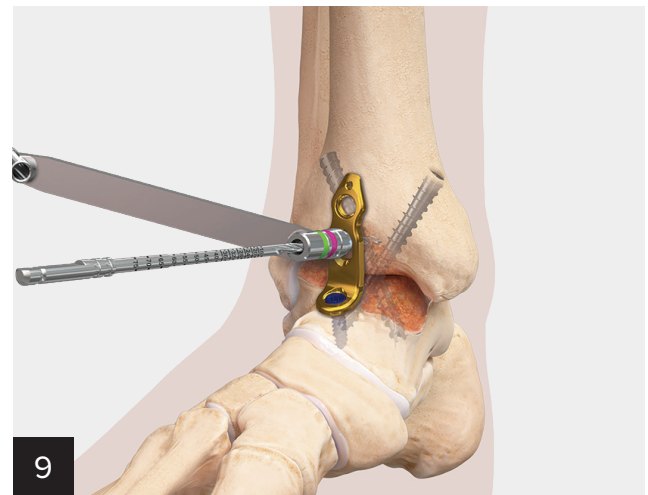


7 皮切よりアングルフュージョンプレート、前方 TTを設置します。脛骨近位部にBB-Takを用いて、このプレートを仮固定します。

距骨ドリリングを行う際、ロッキングガイドとの干渉を避けるために脛骨近位部のBB-Takは内側もしくは外側に少し角度を付けて挿入する必要があります。



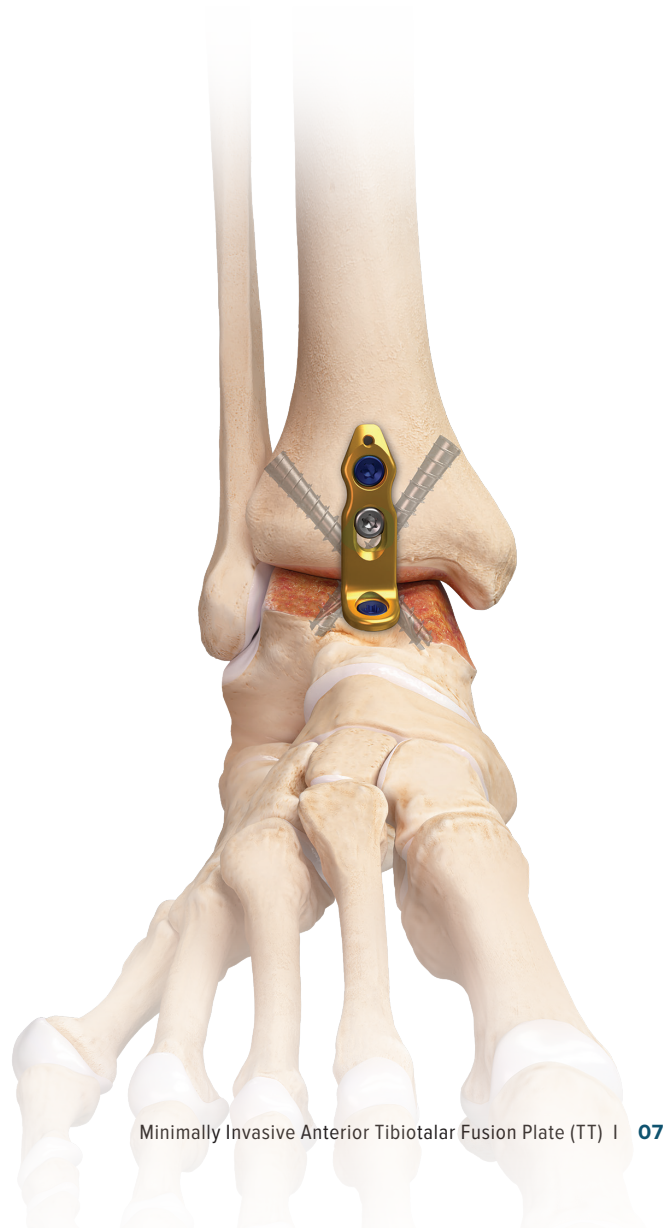
ドリル3mmでドリリングして、ロックングスクリュー4.5mmまたはコーティカルスクリュー4.5mmを用いて、このプレートを距骨遠位部に固定します。



オプロングコンプレッションホールにコーティカルスクリューを挿入することで関節固定部への更なる圧迫とプレートを脛骨に圧着することが期待できます。

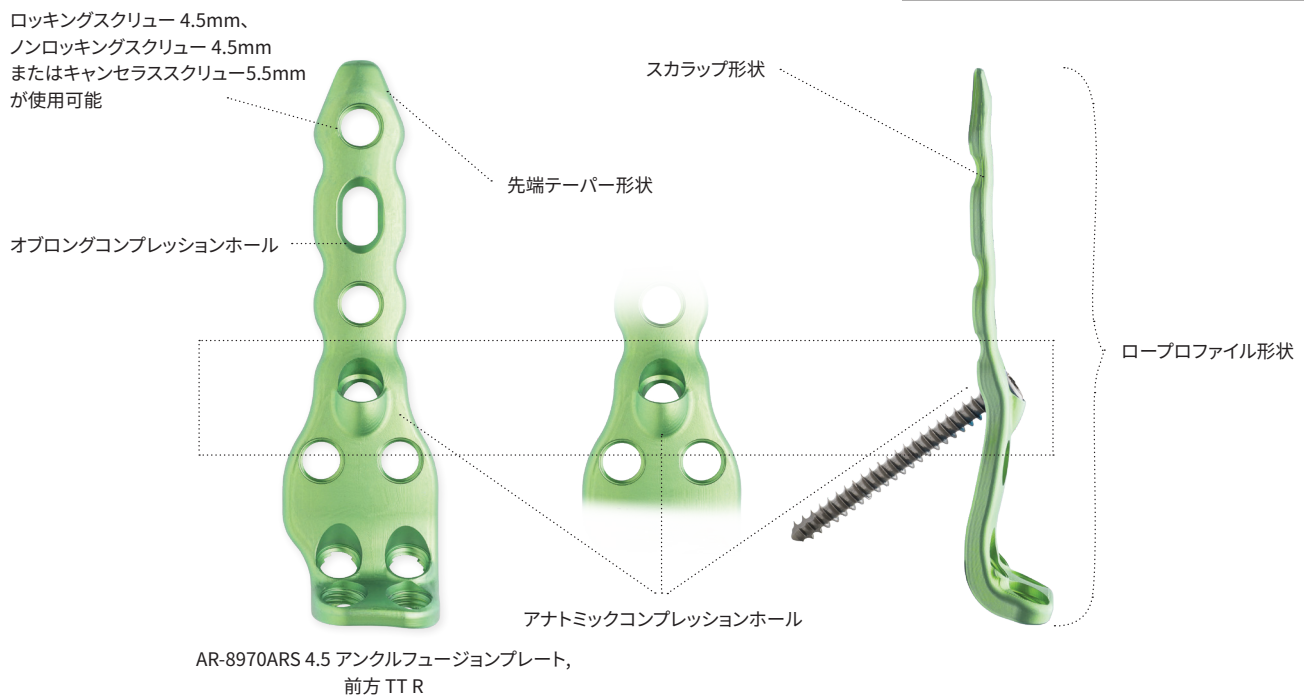
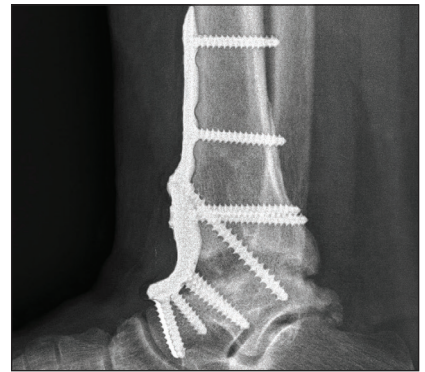


ロックングスクリューまたはコーティカルスクリューのどちらかを用いて、プレート近位端を固定します。



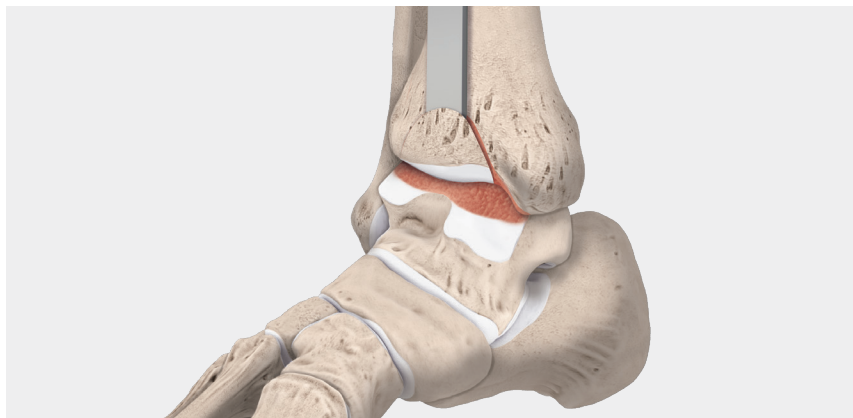
Anterior Tibiotalar Fusion Plate (TT)

アンクルフュージョンプレート前方は距腿関節前方固定のために設計されています。距骨に対してアナトミカル形状となっており、左右ともにラインナップしています。このプレートにはスクリューを挿入することでプレートを脛骨へ引き寄せるオブロングコンプレッションホール、距腿関節にスクリューを挿入することのできるアナトミックコンプレッションホールがあります。スクリューは術者が任意でロッキングスクリュー、コーティカルスクリューを選択可能です。



Joint Preparation

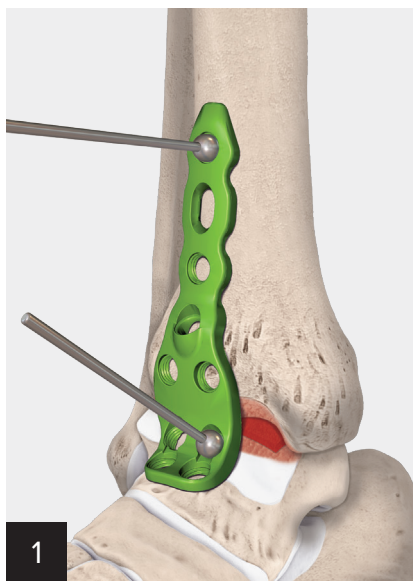
Surgical Approach: 足関節面を同定するために前方正中皮切を使用します。この関節面の郭清を行います。



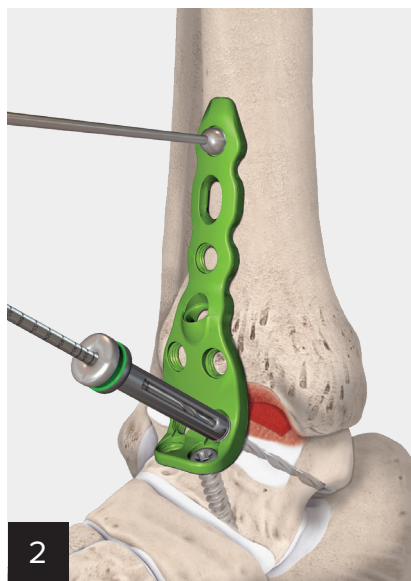
A) Optional: ミニジョイントディストラクター コンプレッサーを用いることで、プレート設置前に圧迫や延伸を加えることが可能となります。

B) Optional: オプションとして、プレート設置前に、6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, FT、6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, PT または 5.0 Large Comp FT スクリューや7.0 XL Comp FT スクリューを使用することができます。

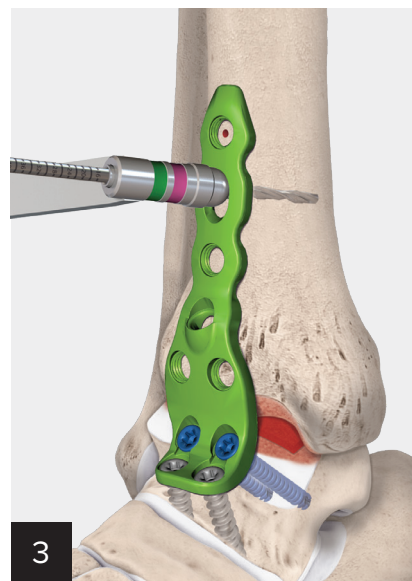
関節炎による足の変性がある場合、プレート設置のため脛骨前方の一部を除去する必要があります。



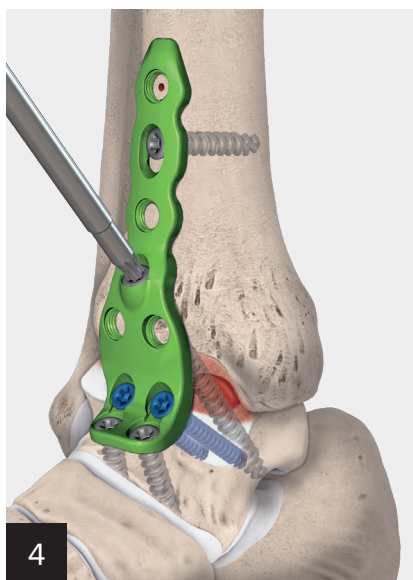
任意のアンクルフュージョンプレート、前方を設置して距骨ともう一方の脛骨にBB-Takを使用して、仮固定します。



ドリル3mmでドリリングして、ロックングスクリュー4.5mmまたはコーティカルスクリュー4.5mmをプレート遠位部に挿入します。オプロングコンプレッションホールにスクリューを挿入する前にプレート遠位部の固定が完了していることを推奨します。



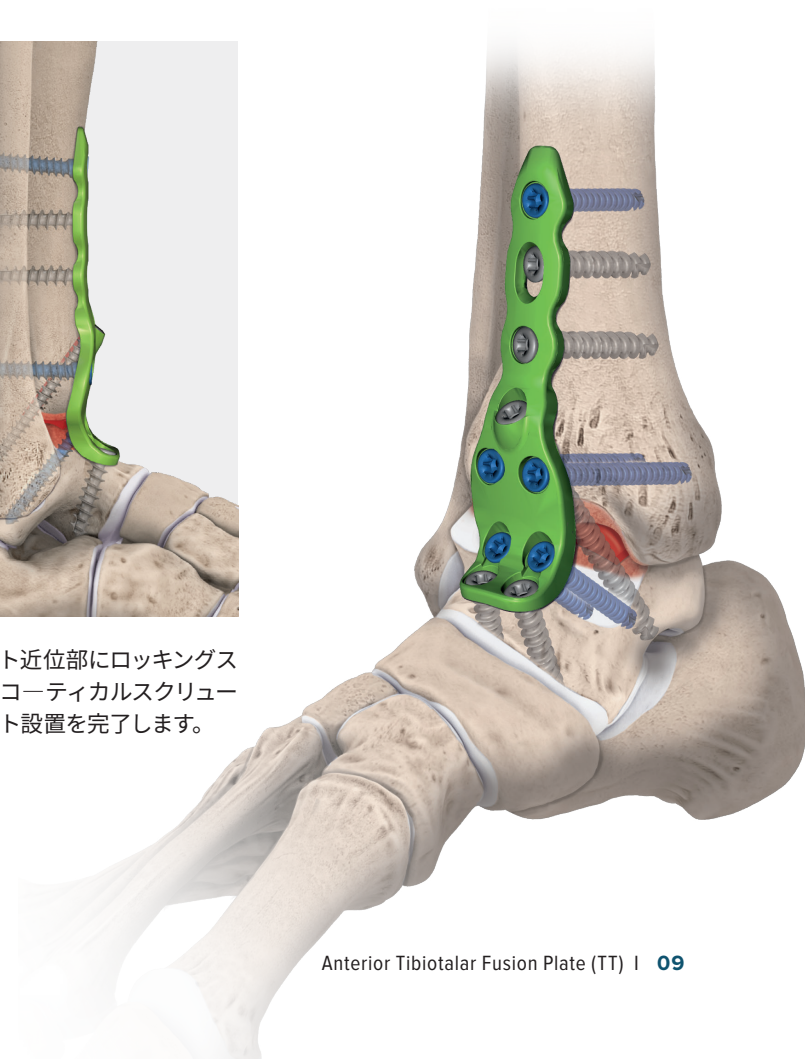
オプロングコンプレッションホールにコーティカルスクリューを挿入することで、関節固定部への圧迫を掛け、脛骨部への引き寄せを可能とします。



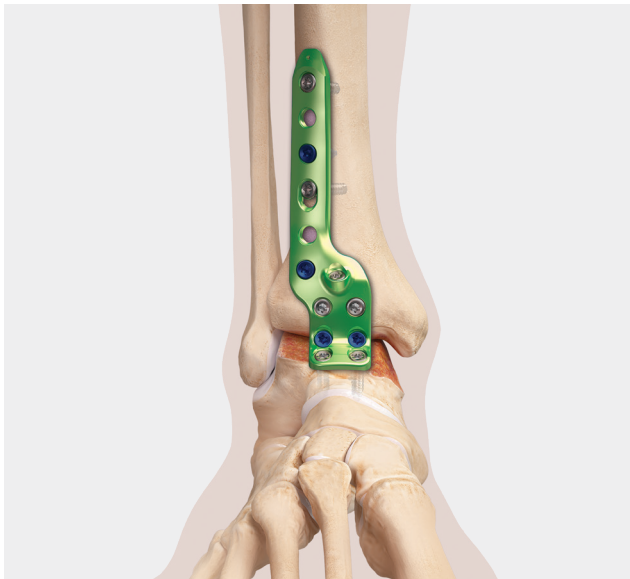
アナトミックコンプレッションホールにコンプレッションドリルスリーブ（ガイドワイヤーでドリリング後、中空ドリルを使用することも可能です。）を当て、ドリル3mmでドリリングします。ドリル5.5mmでオーバードリルします。デプスゲージを使用して測定を行い、スクリュー5.5mmを挿入します。



残っているプレート近位部にロックングスクリューもしくはコーティカルスクリューを挿入してプレート設置を完了します。



Long Anterolateral Tibiotalar Fusion Plates (TT)

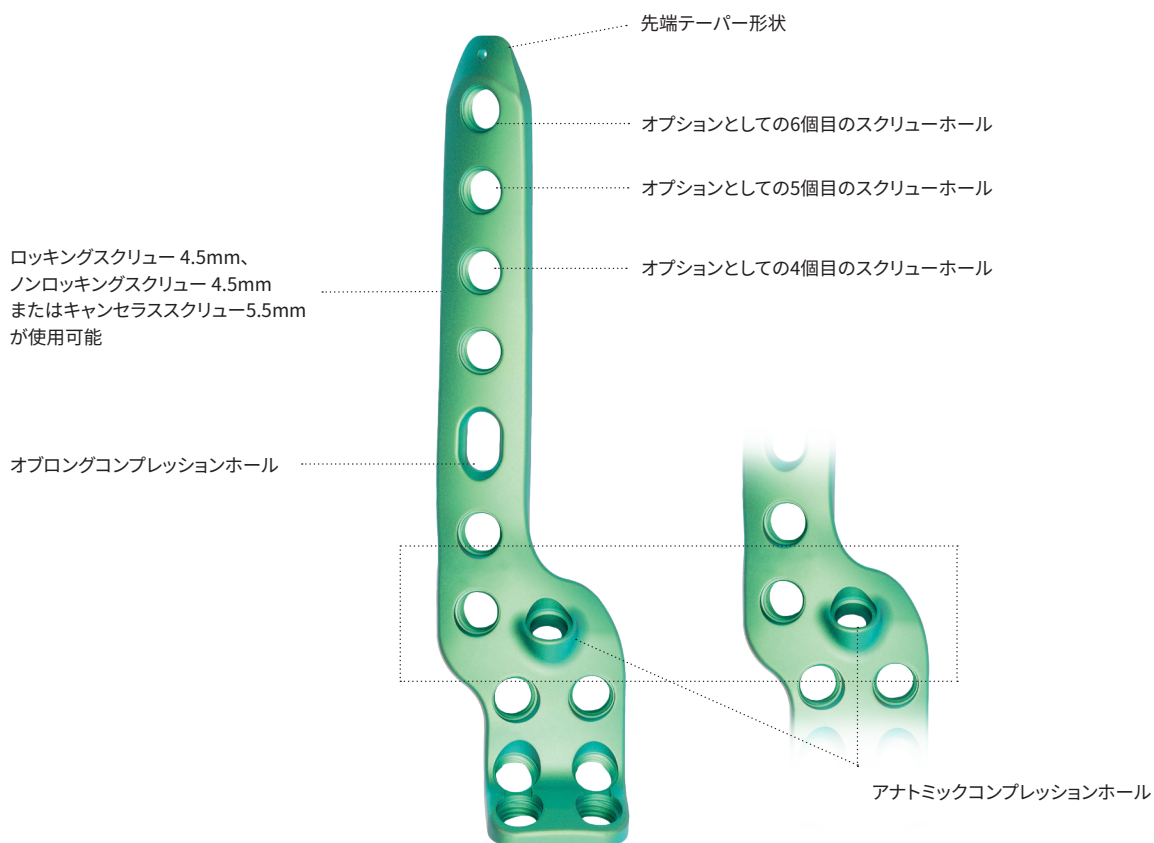


Anterolateral Tibiotalar Fusion Plate (TT)

プレートはロープロファイル形状となっており、脛骨近位部の突起を考慮して設計されています。距骨に対してアナトミカル形状となっており、左右ともにラインナップしています。スクリューは術者が任意でロックングスクリュー、コーティカルスクリューを選択可能です。

AR-8970AL-04, 05, 06S

AR-8970AR-04, 05, 06S



AR-8970AR-06S 4.5 アンクルフュージョンプレート,
前方 TT R 6H



Short Talar Neck Anterior Fusion Plate (TT)



Short Talar Neck Anterior Fusion Plate (TT)

アンクルフュージョンプレート 前方ショートネックはプレート遠位部を短くし、スクリューが距骨の中央を捉えるよう設計されています。このプレートは遠位部を短くして、距骨へ挿入するスクリューをプレート遠位部2本とアナトミックコンプレッションホール1本になるようなデザインになっています。また、プレート遠位部のスクリューは術者が任意でロックングスクリュー、コーティカルスクリューを選択可能です。

AR-8970AS-03S, 04S

ロックングスクリュー 4.5mm、
ノンロックングスクリュー 4.5mm
またはキャンセラスクリュー5.5mm
が使用可能

オブラングコンプレッションホール

先端テーバー形状

距骨ショートネックオプション

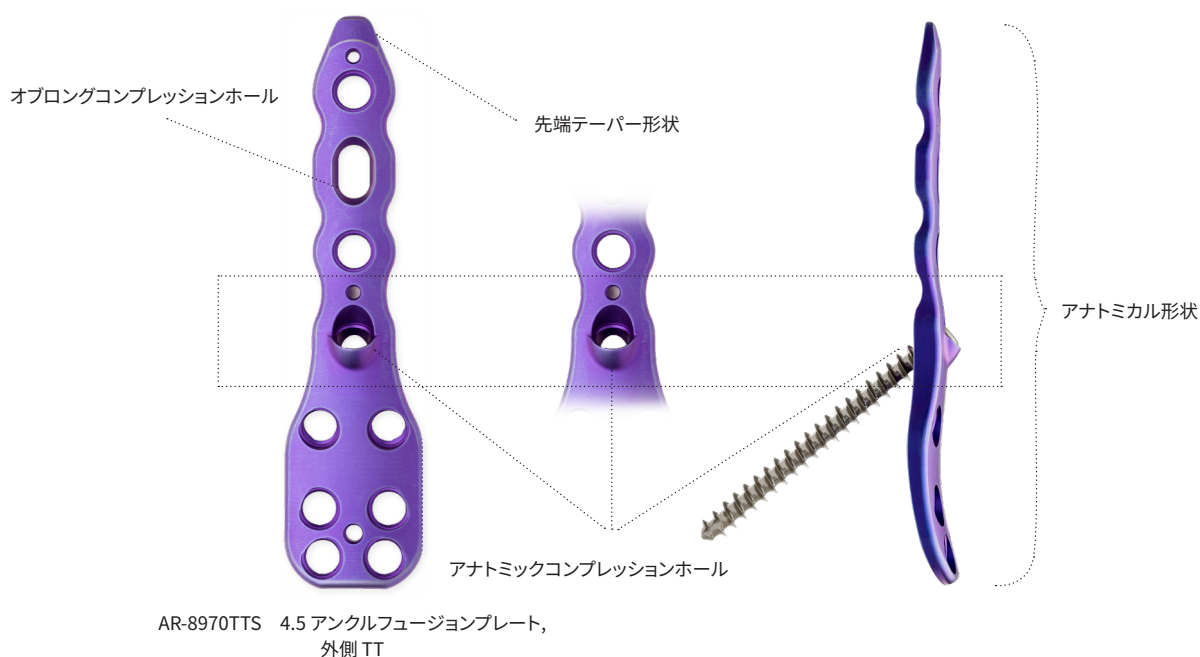
アナトミックコンプレッションホール

AR-8970AS-03S 4.5 アンクルフュージョンプレート,
前方 TT Short Talar Nck 3H



Lateral Tibiotalar Fusion Plate (TT)

アングルフュージョンプレート 外側 TTは足関節固定術外側アプローチからの固定ができるよう開発されました。プレート遠位部はアノミカル形状となっています。スクリューは術者が任意でロッキングスクリュー、コーティカルスクリューを選択可能です。プレート遠位部を固定した後、オブロングコンプレッションホールにスクリューを挿入してプレートを脛骨に引き寄せ、アノミックコンプレッションホールにスクリューを挿入することで距腿関節を固定します。



Joint Preparation

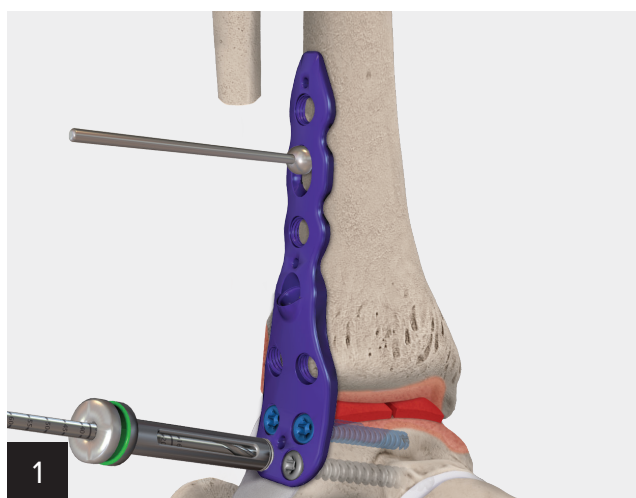
Surgical Approach: 外側経腓骨アプローチにて足関節を露出します。関節表面を郭清します。必要に応じて、移植骨片として腓骨骨片を細分化します。



A) **Optional:** ミニジョイントディストラクター コンプレッサーを用いることで、プレート設置前に圧迫や延伸を加えることが可能となります。

B) **Optional:** オプションとして、プレート設置前に、6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, FT, 6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, PT または 5.0 Large Comp FT スクリューや7.0 XL Comp FT スクリューを使用することができます。

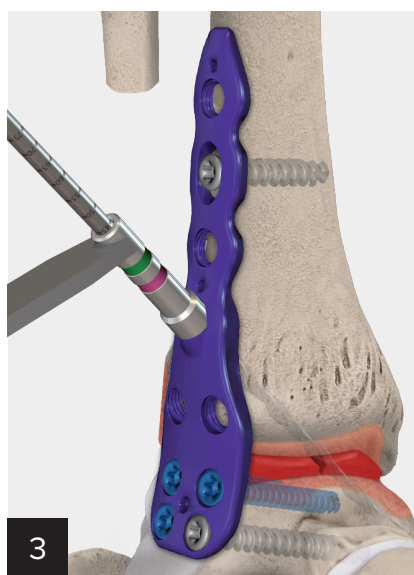
腓骨を切除した後、骨鉗子あるいはボーンソーを用いてプレート設置の妨げとなる脛骨外側の骨棘を切除します。



1
プレート遠位部にドリル 3mm でドリリングを行い、ロッキングスクリュー 4.5mm もしくはコーティカルスクリュー 4.5mm を挿入してプレート遠位部を固定します。距骨側の BB-Tak を抜き、プレート遠位部にスクリューを挿入していきます。プレート近位部のオブラングコンプレッションホールにスクリューを挿入する前にプレート遠位部を固定しておくことを推奨します。



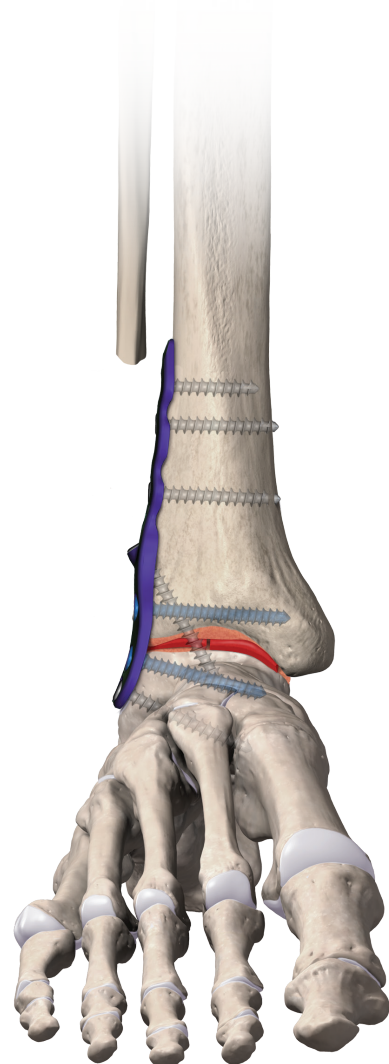
2
オブラングコンプレッションホールにコーティカルスクリューを挿入して、プレートを脛骨へ引き寄せることが可能です。



3
アナトミックコンプレッションホールにコンプレッションドリルスリーブ（ガイドワイヤーでドリリング後、中空ドリルを使用することも可能です。）を用いて、ドリル 3mm でドリリングします。その後、ドリル 5.5mm でオーバードリルをします。

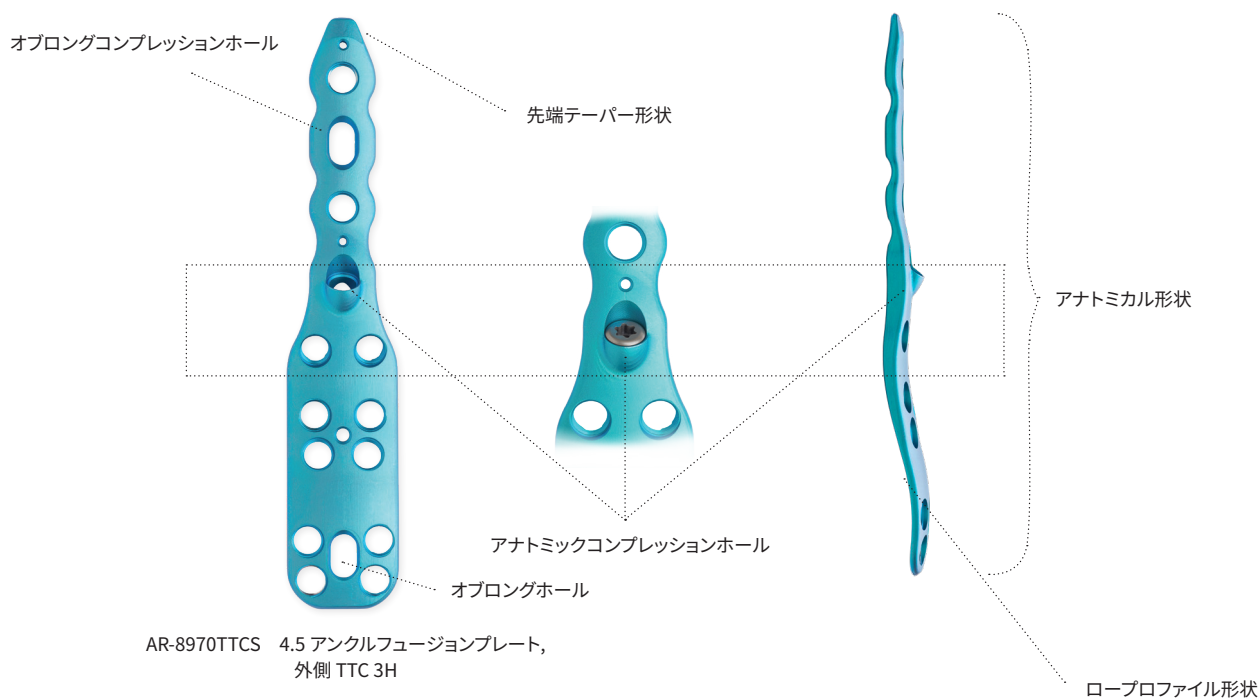


4
デプスゲージで挿入長を測定し、スクリュー 5.5mm を挿入します。残っている近位部にロッキングスクリューもしくはコーティカルスクリューを挿入してプレートを固定します。



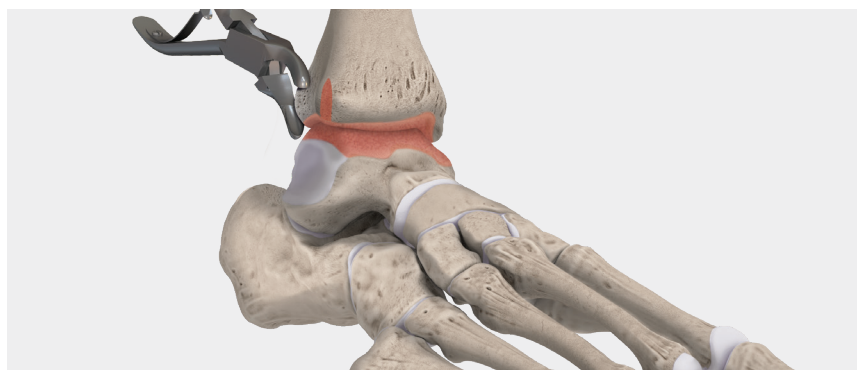
Lateral Tibiototalcaneal Fusion Plate (TTC)

アングルフュージョンプレート 外側 TTCは足関節固定術における外側アプローチ法で距腿・距骨下関節の固定のために設計されました。このプレートはロープロファイルで、プレート遠位部はアノミカル形状となっています。スクリューは術者が任意でロックングスクリュー、コーティカルスクリューを選択可能です。プレート遠位部を固定した後、オブロングコンプレッションホールにスクリューを挿入してプレートを脛骨に引き寄せ、アノミックコンプレッションホールにスクリューを挿入することで距腿関節を固定します。



Joint Preparation

足関節や距骨下関節を露出させるために外側経腓骨アプローチを用いて、関節面の郭清を行います。必要に応じて、移植骨として腓骨を細分します。



A) **Optional:** ミニジョイントディストラクター コンプレッサーを用いることで、プレート設置前に圧迫や延伸を加えることが可能となります。

B) **Optional:** オプションとして、プレート設置前に、6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, FT, 6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, PT または 5.0 Large Comp FTスクリューや7.0 XL Comp FT スクリューを使用することができます。

腓骨を切除した後、骨鉗子あるいはボーンソーを用いてプレート設置の妨げとなる脛骨外側の骨棘を切除します。



BB-Takを用いて、プレート 外側用を任意の位置に仮固定します。
この際、踵骨と脛骨近位に各1本ずつBB-Takを用いることを推奨します。ドリル3mmでドリリングを行い距骨側のスクリューホールにコーティカルスクリュー 4.5mmを挿入してプレートを固定します。



関節面に圧迫を掛ける前に距骨側のスクリュー挿入を完了させておくことを推奨します。プレート遠位部を設置するために、踵骨側のオブロングコンプレッションホールにドリリングし、コーティカルスクリュー 4.5mmを挿入します。



必要に応じてロッキングスクリュー 4.5mmもしくはコーティカルスクリュー 4.5mmを踵骨に挿入します。



脛骨近位のオブロングコンプレッションホールにドリリングしてコーティカルスクリュー 4.5mmを挿入することで足関節に圧迫を掛けることが期待できます。

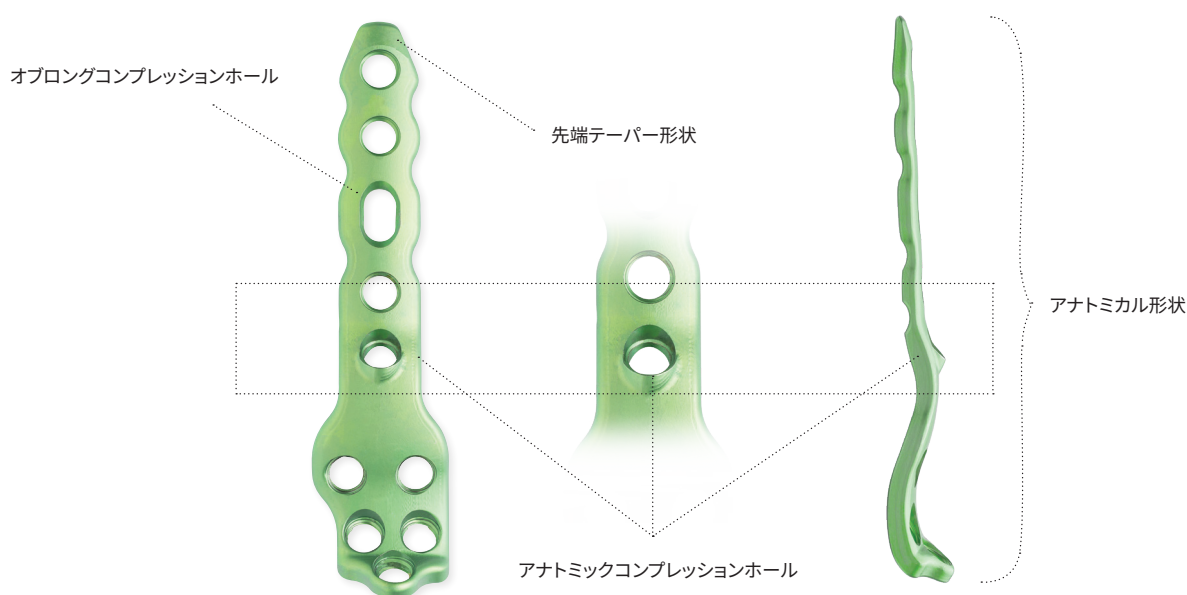
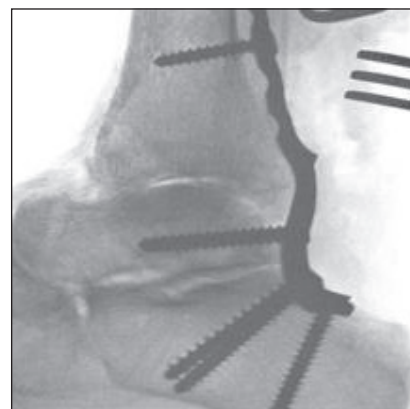


アナトミックコンプレッションホールにコンプレッション ドリルスリーブ (ガイドワイヤーでドリリング後、中空ドリルを使用することも可能です。) を用いて、ドリル 3mmでドリリングします。その後ドリル 5.5mmでオーバードリルします。デプスゲージで測定してコーティカルスクリュー 5.5mm挿入します。必要に応じてプレート近位部の余っているスクリューホールにロッキングスクリューまたはコーティカルスクリューを挿入します。



Posterior Tibiototalcalcaneal Fusion Plate (TTC)

アングルフュージョンプレート 後方は軟部組織や骨質を考慮した後方アプローチによる足関節固定術が行えるよう設計されています。このプレート遠位部は踵骨に3点、距骨に2点スクリーが挿入出来るよう距骨後方と踵骨後方の骨形状に基づいたアノミカル形状となっています。プレート遠位部は術者が任意でロッキングスクリー、コーティカルスクリーを選択可能でスクリーが骨内で干渉しないような設計をしています。オプロングコンプレッションホールにスクリーを挿入してプレートを脛骨に引き寄せ、アノミックコンプレッションホールにスクリーを挿入することで距腿関節に圧迫を掛けることが期待できます。



Joint Preparation

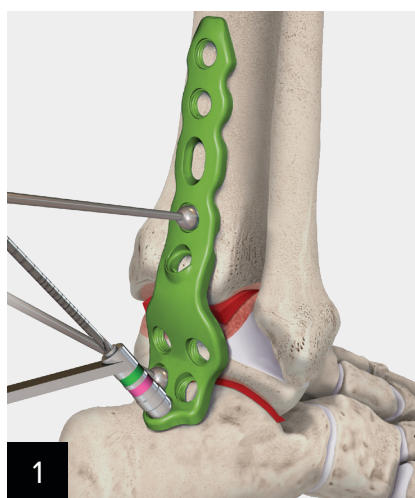
Surgical Approach: 正中後方アプローチ用いて、アキレス腱を長軸方向に切開して足関節を露出させます。長母趾屈筋を外側に保持して後脛骨神経及び後脛骨動脈を損傷しないように注意してください。関節面を郭清します。



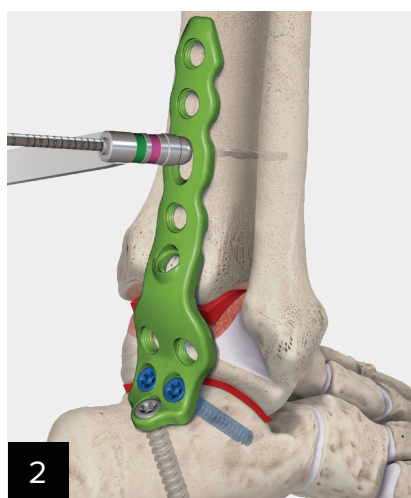
A) Optional: ミニジョイントディストラクター コンプレッサーを用いることで、プレート設置前に圧迫や延伸を加えることが可能となります。

B) Optional: オプションとして、プレート設置前に、6.7 LPスクリー、Ti, 中空, FT, 6.7 LPスクリー, Ti, 中空, PT または 5.0 Large Comp FT スクリューや7.0 XL Comp FT スクリューを使用することができます。

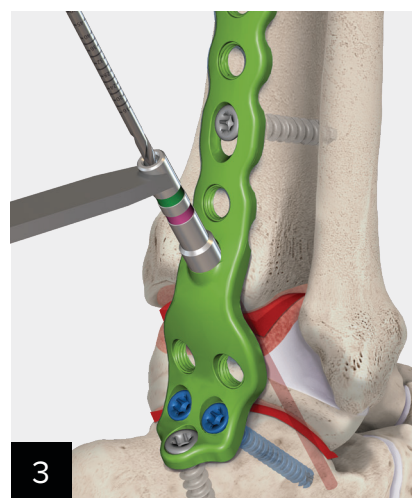
アングルフュージョンプレート 後方は足関節の自然な解剖に適するよう設計されています。しかし、状況によっては脛骨の後方炎症部を除去する必要があります。



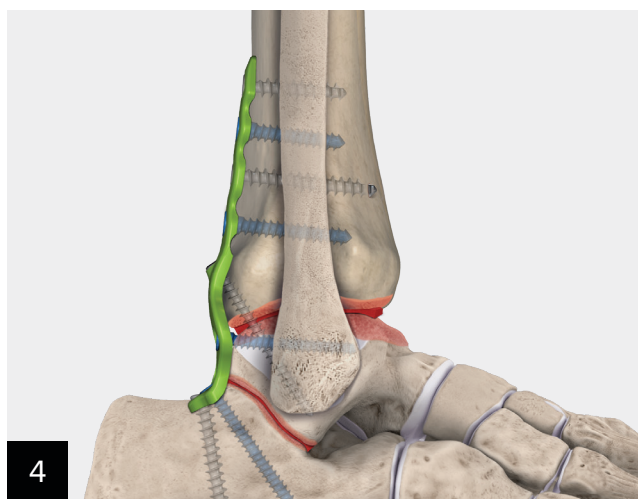
このプレートを任意の位置に設置して、脛骨と踵骨に各1本ずつBB-Takを挿入します。仮固定をしながら踵骨部スクリューホールにいずれかに1本目のロックングスクリューまたはコーティカルスクリューを挿入します。近位部のBB-Takを抜き、踵骨部スクリューホールにスクリューを挿入します。



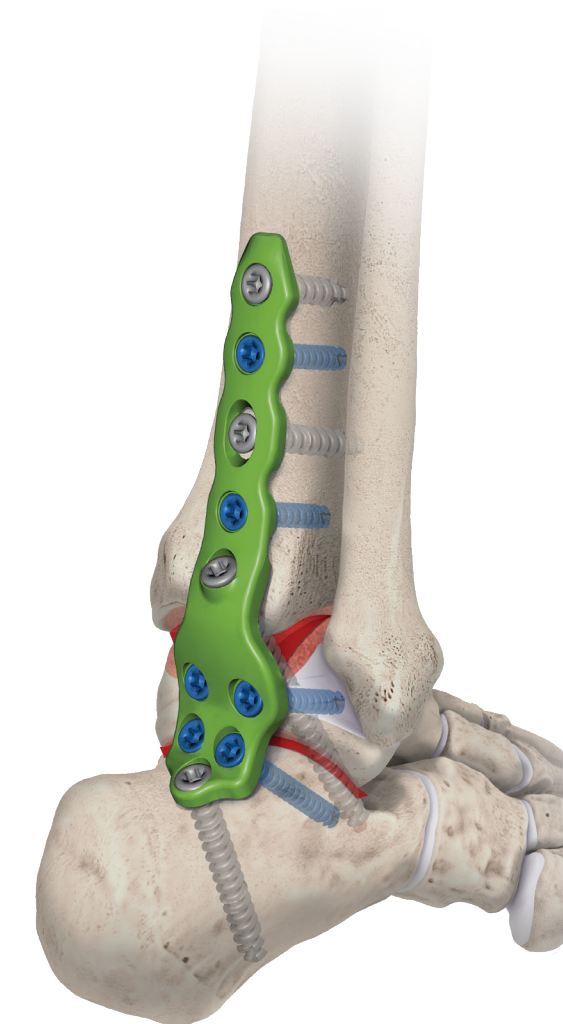
オブロングコンプレッションホールにコーティカルスクリューを挿入することによって、距腿関節と距骨下関節の関節固定部に圧迫を掛け、このプレートの脛骨部を表面に引き寄せることが期待できます。



アナトミックコンプレッションホールにコンプレッションドリルスリーブ（ガイドワイヤーでドリリング後、中空ドリルを使用することも可能です。）を用いて、ドリル3mmでドリリングします。その後ドリル5.5mmでオーバードリルします。デプスゲージで測定してコーティカルスクリュー5.5mm挿入します。



必要に応じて、距骨部と脛骨部のスクリューホールにスクリューを挿入します。



Cannulated Screws

アングルフュージョンシステムは足関節固定術に対して様々なインスツルメントを提供します。このインスツルメントセットは足関節固定術の一つであるスクリュー固定も行えるようスクリュー 6.7mm 中空または5.0 Large Comp FTスクリューや7.0 XL Comp FTスクリューも構成されています。



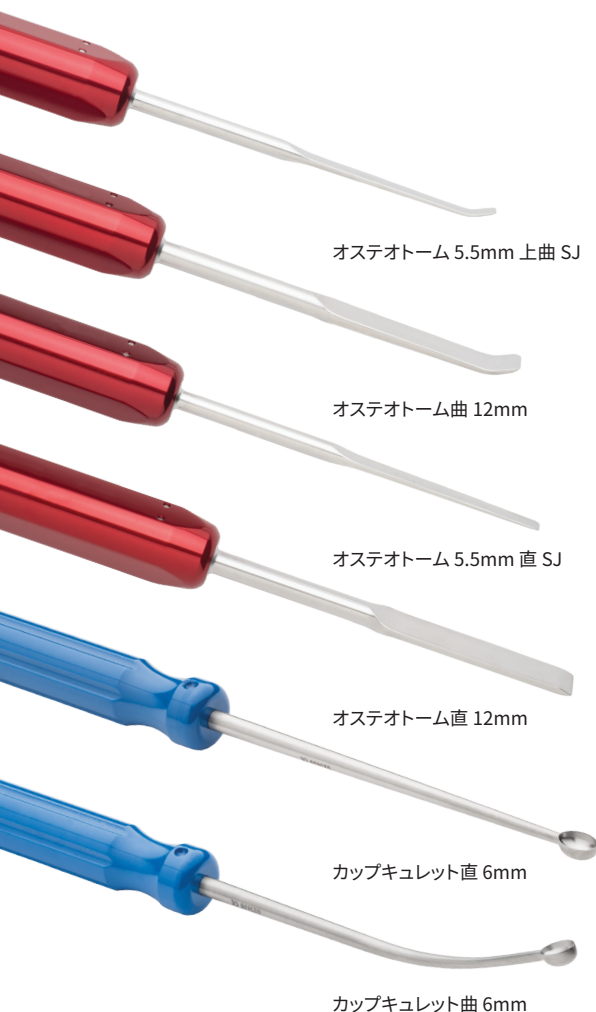
6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, 18mm PT



7.0 XL Comp FT スクリュー

- ロープロファイルヘッダーロープロファイルなヘッドデザイン
- セルフドリリング/タッピング挿入を容易にする設計
- ヘッドレスデザインーヘッドレスな設計

- フルスレッドデザインー可変的スレッドピッチとテーパー形状
- セルフドリリング/タッピングー螺旋リリーフフルート形状



オステオトーム 5.5mm 上曲 SJ

オステオトーム 曲 12mm

オステオトーム 5.5mm 直 SJ

オステオトーム 直 12mm

カップキュレット 直 6mm

カップキュレット 曲 6mm

Joint Preparation

足関節や距骨下関節の軟骨除去が容易にできるようにこのアングルフュージョンプレートにはストレートやカーブのキュレットオステオトームが構成されています。これらのインスツルメントは前方、外側、後方のいかなるプレートを使用する場合にも使用でき、足関節固定術の手術を容易にします。

ミニジョイントディストラクター/コンプレッサー

プレートによる固定をする前に関節固定部への延伸や圧迫を調整します。

このデバイスを使用するにはガイドワイヤー1.6mmもしくはガイドワイヤー2.4mmまたはトラクションスクリュー 3mmが必要となります。



Ordering Information

Ankle Fusion Plating System, 6.7mm Set

製品番号	製品名
Common Instruments	
AR-8640	Cobb エレベーター9mm
AR-8650-08	オステオトーム 5.5mm 上曲 SJ
AR-8650-09	オステオトーム 5.5mm 直 SJ
AR-8943-07	ボーンリダクションフォースeps カーブドポインティッド
AR-8970JD	Mini Jointディストラクター コンプレッサー
AR-8970-11	カップキュレット直 6mm
AR-8970-12	カップキュレット曲 6mm
AR-8970-13	オステオトーム曲 12mm
AR-8970-14	オステオトーム直 12mm
Instruments for 6.7 Low Profile Screw	
AR-1416	ハドソンアダプターヤコブスチャック付
AR-4167	デプスゲージラージ
AR-8941F	フォースeps スクリュー把持用
AR-8967CSF	カウンターシンク 6.7mm 中空ハンドル付
AR-8967D	ドライバースhaft 3.5HEX 中空 Mini Hudson
AR-8967DG	デプスデバイス6.7mm中空用
AR-8967G	ドリルガイド 4.0/6.7mm
AR-8970-07	デプスゲージ 4.5/5.5mm用
Instruments for Ankle Fusion	
AR-1999	ラチェッティングスクリュードライバー
AR-8970RH	ドライバースハンドル ラチェット式 Large
AR-8970-01	ドリルガイド 4.5mm □形状 用
AR-8970-02	ドリルガイド 3.0/4.5mm
AR-8970-03	ヘキサローブドライバースhaft T20
AR-8970-05	ドリルガイド 5.5/3.0mm
AR-8970-06	ガイドワイヤースリーブ 1.6mm
AR-8970AS-03T	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT ショート
AR-8970ALT	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT L 3H
AR-8970AL-05T	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT L 5H
AR-8970ART	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT R 3H
AR-8970AR-05T	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT R 5H
AR-8970TTT	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TT 3H
AR-8970TT-05T	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TT 5H
AR-8970TTCT	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TTC 3H
AR-8970TTC-05T	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TTC 5H
AR-8970PLT	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 後方 TTC L
AR-8970PRT	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 後方 TTC R
AR-8970MAT	トライアル 4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT MIS

Plate

製品番号	製品名
Anterior Plate, Left	
AR-8970ALS	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT L
AR-8970AL-04S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT L 4H
AR-8970AL-05S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT L 5H
AR-8970AL-06S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT L 6H
Anterior Plate, Right	
AR-8970ARS	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT R
AR-8970AR-04S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT R 4H
AR-8970AR-05S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT R 5H
AR-8970AR-06S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT R 6H
Anterior Plate, short talar	
AR-8970AS-03S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT Short Talar Nck 3H
AR-8970AS-04S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT Short Talar Nck 4H
Lateral, Tibiotalar, Plate	
AR-8970TTS	4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TT
AR-8970TT-04S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TT 4H
AR-8970TT-05S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TT 5H
Lateral, Tibiotalar, Plate	
AR-8970TTCS	4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TTC 3H
AR-8970TTC-04S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TTC 4H
AR-8970TTC-05S	4.5 アンクルフュージョンプレート, 外側 TTC 5H
Posterior, Tibiotalar, Plate	
AR-8970PLS	4.5 アンクルフュージョンプレート, 後方 TTC L
AR-8970PRS	4.5 アンクルフュージョンプレート, 後方 TTC R
Anterior plate, minimally invasive	
AR-8970MAS	4.5 アンクルフュージョンプレート, 前方 TT MIS

Low Profile Screw, 4.5mm/5.5mm

製品番号	製品名
Locking Screws	
AR-8545L-18S - 50S	LPロッキングスクリューTi 4.5 x 18 mm - 50mm (滅菌済) (2mm刻み)
AR-8545L-50S - 75S	LPロッキングスクリューTi 4.5 x 50 mm - 70mm (滅菌済) (5mm刻み)
Cortical Screws 4.5mm	
AR-8545L-18S - 50S	LPコーティカルスクリューTi 4.5 x 18 mm - 50mm (滅菌済) (2mm刻み)
AR-8545L-50S - 100S	LPコーティカルスクリューTi 4.5 x 50 mm - 100mm (滅菌済) (5mm刻み)
Cortical Screws 5.5mm	
AR-8555L-20S - 100S	LPコーティカルスクリューTi 5.5 x 20 mm - 100mm (滅菌済) (5mm刻み)
Low Profile Screws 6.7mm	
AR-8967-1840S - 18120S	6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, 18mm PT 40mm - 120mm (5mm刻み)
AR-8967-2840S - 28120S	6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, 28mm PT 40mm - 120mm (5mm刻み)
AR-8967-40FTS - 95FTS	6.7 LPスクリュー, Ti, 中空, FT 40mm - 95mm (5mm刻み)
AR-8967WS	4.5 ワッシャー, Ti

Ankle Fusion Plating System

製品番号	製品名
※AR-8967K	ガイドワイヤー 2.35mm x 200mm (トロッカーチップ)
AR-8970-30	ドリル 3.0mm Ankle Fusion Depthマーク付
AR-8970-30C	ドリル 3.0mm Ankle Fusion Depthマーク付 中空
AR-8970-40C	ドリル 4.0mm Ankle Fusion Depthマーク付 中空
AR-8970-45	ドリル 4.5mm Ankle Fusion Depthマーク付
AR-8970-55	ドリル 5.5mm Ankle Fusion Depthマーク付
※AR-8941-7	ガイドワイヤー 1.6mm x 178mm

※6本入 未滅菌

販売名	承認等番号	一般的名称	規制区分	機能区分
Ankle Fusion プレート	30200BZX00366000	体内固定用プレート	クラスIII	固定用内副子・FE-1
Arthrex LP ロッキングスクリュー Ti	23000BZX00238000	体内固定用ネジ	クラスIII	固定用内副子・FA-1
Arthrex LP スクリュー Ti	23000BZX00085000	体内固定用ネジ	クラスIII	固定用内副子・FA-1、固定用内副子・FK-2、固定用内副子・FB-1-L
Large コンプレッションスクリュー FT	30100BZX00007000	体内固定用ネジ	クラスIII	固定用内副子・F1-c-2
単回使用 DEX 手術用器械	230ADBZX00095000	単回使用整形外科用バー	クラスII	非該当
単回使用関節手術用手術器械	224ADBZX00132000	単回使用関節手術用器械	クラスII	非該当
単回使用骨手術用器械	225ADBZX00086000	単回使用骨手術用器械	クラスII	非該当
プレート用手術器械	229ADBZX00021000	単回使用骨手術用器械	クラスII	非該当
骨手術用器械	13B1X10093130005	骨手術用器械	クラスI	非該当
肩関節再建用手術器械	13B1X10093A08001	関節手術用器械	クラスI	非該当
膝関節再建用手術器械	13B1X10093A07001	関節手術用器械	クラスI	非該当
HTO 用手術器械	13B1X10093B20001	骨手術用器械	クラスI	非該当

● 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

製造販売元

Arthrex Japan合同会社

〒163-0828 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル28F

TEL: 03-4578-1030 FAX: 03-4578-1029 LT7-0470-ja-JP_C

